

令和2年度

事業計画書

令和2年3月

学校法人 藤村学園

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学

目 次

令和 2 年度事業計画	1
I 法人の運営	2
II 大学・短期大学の運営	5
III 事業の内容	6
1 重点事業の概要	6
2 所管別事業計画	
○教育改革推進関係事業	14
○事務局関係事業	14
○教務関係事業	15
○教職関係事業	16
○学生支援関係事業	16
○キャリア支援・就職対策関係事業	18
○学生募集・入学試験関係事業	19
○学生・教職員の健康管理関係事業	18
○教育・研究支援関係事業	20
○地域との交流関係事業	20
○図書館の運営関係事業	21
○施設の整備	22
○キャンパス整備計画	22
IV 予算概要	24

別紙 1 学園組織図

別紙 2 令和 2 年度行事予定表

令和2年度 事業計画

18歳人口の推計は、令和2年度の117万人からさらに減り続け、2030年にはおよそ13万人少ない104万人まで減少するとされています。

大学を取り巻く環境がますます厳しさを増していくなか、大学における私立の割合は77%、短期大学においては95%を占めており、日本の教育に大きく貢献しています。

本学においては、藤村トヨの建学の精神である「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を基調として、新たな「知」の創造と活用を通じて、未来を切り拓き、社会に貢献できる立派な人材を輩出することを目標としています。

また、高度なスポーツ科学や健康科学に関する研究を推進し、その理論に裏づけられた実践教育を広く展開することによって社会的な責任を果たしていきます。

このような理念の下、本学はこれまでの成果を検証しつつ、教員養成機関として社会の要請に応えるとともに、教育に対する情熱とより高度な専門知識・技能を保有する実践的な指導者を育成するために邁進していきます。また、教育内容の改善・充実を最重要課題として本来の使命である教育・研究活動の一層の充実・向上に向けて弛まぬ努力と創意工夫をしていきます。

財政面においては、経営基盤の安定確保と財政収支の均衡を図り、教育・研究活動の継続を主眼においた財務計画を推進するとともに、学生及び保護者の信頼を高める教育内容の充実に一層努め、建学の精神に基づき、より魅力ある大学を目指すための改革を進めていきます。

令和2年度は、前年度に開設した短期大学児童教育学科の保育士養成課程をさらに発展・充実させるとともに社会のニーズに柔軟に対応するべく新たな教育を展開していきます。そして2022年には創立120周年を迎えることを踏まえ、継続的に教育内容の充実に取り組むとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、女子体育大学・女子体育短期大学としてあらゆる限りの可能性を追求し、本書に掲げる重点事業を軸とした令和2年度の事業を展開していきます。

I 法人の運営

1 理事会等の開催

- (1) 常任理事会 (理事 5人 週1回程度随時開催)
- (2) 理事会 (理事 9人 毎月1回開催)
- (3) 評議員会 (評議員 19人 年3回程度開催)

2 学園組織図 別紙1のとおり

3 役員・評議員・教職員

- (1) 役員
 - ① 理事 9人 ② 監事 2人
- (2) 評議員 19人
- (3) 教職員数
 - ① 教育職員 59人 ② 事務職員 57人

【教職員構成】(令和2年4月1日予定) (単位:人)

教育職員		事務職員				非常勤講師
学長	1	局長	1	寮生指導員	2	42
教授	31	次長	1	嘱託員	1	
准教授	16	課長・主幹	11	教務補佐員	9	
講師	11	課長代理	0			
助教	0	係長	6			
		主査	5	計 ②	57	
計 ①	59	課員	21	総計①+②	116	

4 設置する学校・学部・学科等

理事長 雨宮 忠

- (1) 東京女子体育大学
体育学部・体育学科
学長 金子 一秀
- (2) 東京女子体育短期大学
保健体育学科
児童教育学科
学長 金子 一秀

【第三者評価機関別認証評価】

大学	平成20年3月19日認証	財団法人 日本高等教育評価機構
	平成27年3月10日認証	公益財団法人日本高等教育評価機構
短期大学	平成19年3月22日認証	財団法人 短期大学基準協会
	平成26年3月13日認証	一般財団法人 短期大学基準協会

5 学部・学科の入学定員

【令和2年度学部学科の入学定員及び収容定員】

(単位：人)

		大 学 体育学部 体育学科	短 期 大 学			総 計
			保健体育 学科	児童教育 学科	短大計	
入学 定員	入 学 定 員	340	50	110	160	500
	3 年次編入学定員	40				40
収 容 定 員		1,440	100	220	320	1,760

6 教育研究上の基本となる組織

大学等	学部	学科	コース
東京女子体育大学	体育学部	体育学科	コーチング学 体育学 スポーツ健康学
東京女子体育短期大学	保健体育学科		
	児童教育学科		幼保 幼小

7 授業料等学納金

(単位：円)

	項 目	大 学 体育学科	短 期 大 学	
			保健体育学科	児童教育学科
入学時 納入	入 学 金	300,000	230,000	230,000
	授 業 料(前期)	370,000	340,000	360,000
	施設設備費(前期)	150,000	135,000	135,000
	実験実習料	30,000	25,000	30,000
	計	850,000	749,000	774,000
後期 納入	授 業 料(後期)	370,000	340,000	360,000
	施設設備費(後期)	150,000	135,000	135,000
	実験実習料	30,000	25,000	30,000
	計	550,000	500,000	525,000
合 計 (年額)		1,400,000	1,249,000	1,299,000

8 教育施設

- (1) 校 地 等 52,523 m² (学生寮 2,729 m²及び借地 998 m²を除く)
- (2) 校 舎 等 33,860 m² (学生寮 5,111 m²を除く)
- (3) 使用目的別校舎等
 - 1 号館 管理棟
 - 2 号館 講義室、マルチメディアルーム ゼミ室、研究室、女子体育研究所、
教職ラーニングステーション
 - 3 号館 藤村総合教育センター、地域交流センター、110周年記念藤村学園資料室

- 4号館 講義室、武道場、メディアホール、ピアノレッスン室、多目的演習室、美術室、造形室、ゼミ室、研究室、会議室、キャリア支援センター、教職センター、健康管理センター、リカバリールーム、屋上多目的運動スペース
 - 5号館 第一体育館
 - 6号館 食堂・学生ホール、合宿室、保育演習室
 - 7号館 第二体育館、第三体育館
 - 8号館 合宿室
 - 9号館 第五体育館、プール
 - 10号館 第六体育館、図書館、多目的室
 - 11号館 第七体育館
 - 12号館 事務室、会議室
- クラブハウス

(※学生寮(ふじ寮) 東京都国立市青柳)

II 大学・短期大学の運営

1 教授会の開催

- (1) 定例教授会（月1回、原則として第一水曜日開催）
- (2) 臨時教授会（年7回程度開催）
- (3) 部館所長会（必要に応じて随時開催）

2 部館所長

（令和2年4月1日）

部・館・室長名	氏名
教務部長	小林 福太郎 教授
学生部長	秋山 エリカ 教授
キャリア支援部長	高柳 佐土美 教授
教職センター所長	出張 吉訓 教授
入試部長	早瀬 健介 教授
広報部長	山田 まゆみ 教授
図書館長	田中 洋一 教授
女子体育研究所長	阿江 美恵子 教授
健康管理センター所長	山田 浩二郎 教授
地域交流センター所長	平田 利矢子 教授

※ 任期は、令和元年4月1日から令和3年3月31日〔2年間〕

3 令和2年度 行事予定表 別紙2のとおり

4 学生数

【大学及び短期大学の在学生数（令和2年3月1日）】

（単位：人）

学年	大学 体育学部 体育学科	短期大学			総計
		保健体育学科	児童教育学科	計	
1	340(3)	39(0)	77(1)	116(1)	456(4)
2	369(3)	37(1)	70(1)	107(2)	476(5)
3	395(9)	/	/	/	395(9)
4	370(2)				370(2)
計	1474(17)	76(1)	147(2)	223(3)	1697(20)

（ ）は、休学者数で内数

Ⅲ 事業の内容

本年度の事業計画は、重点事業として、「中長期計画」「教育内容等の改善充実」「研究活動の促進」「学生支援の改善充実」「キャリア支援の充実」「広報活動の充実」「地域交流事業の充実」「教育環境の整備充実」の8事業を掲げ、大学教育の質の向上を図るための計画実施に必要な経費を措置していきます。

1 重点事業の概要

(1) 中長期計画

① 中期計画の実施

東京 2020 オリンピック・パラリンピックや、2022 年の創立 120 周年を迎えることを踏まえ、策定した中期計画（財務計画含む）に則して、事業を推進する。

[基本方針]

○短期大学の改革

保健体育学科と児童教育学科の発展のために改革を推進する。

児童教育学科において、保育士資格を取得した卒業生の活躍状況を把握し、大学編入とあわせて広報活動の強化を図る。

保健体育学科・児童教育学科のカリキュラム改定において、カリキュラムの検証と体系化の検討を行う。さらに、これまで検討してきた他学科履修・科目等履修生の改善・充実を図る。

○大学の改革

認証評価受審を踏まえ、カリキュラムマップ、カリキュラムチェックリスト、シラバス等の検証を進め、教育の質保証に繋げる。

本学で培ってきた保健体育教員養成の教育力をさらに発展させ、時代の要請に応じた幅広い年代層に向けてスポーツ教育を展開できるよう改革を行う。

○教育改革を計画的に推進する

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、2020 年度は 100 分授業 14 週とし、授業期間と単位修得時間の確保、全学的な教育課程（カリキュラム）の見直しをより良い方向に導き、従来の授業方法に加えた多様な授業展開、主体的な学び、自発的・計画的な学びに取り組む。また、藤村トヨの建学の精神に基づく女子体育指導者の養成及びアスリートの育成を図る。

○学生数の増加を図る

教育内容・方法の改善充実、キャリア支援の強化、クラブ活動の強化を図り、本学の強みを活かした戦略的広報活動を展開し、本学への受験者数・入学者数の増加を図るとともに、きめ細かな学生への対応により中途退学者数の減少を図る。

○教育職員採用試験合格者及び採用者の増加を図る

教員採用試験で試される実践的指導力や課題対応力を高めるために、教職ラーニングステーションを活用し、教員採用受験講座や企画講座の充実を図り、採用試験合格者、採用者を増やす対策を推進する。

○経費の削減を図る

事業の必要性及び費用の妥当性を検証するほか、一般的経費については削減目標を設

定し、継続して削減する。

○120周年記念事業の推進

2022年の創立120周年に向け、具体的な検討を行う。また、120周年記念誌については、記念誌編纂委員会が中心となり、作成方針を固め、具体的に進める。

②長期構想計画の策定

中期計画の策定・実施に伴い、今後の将来計画等基本戦略の具体策を検討し、今後の長期構想計画の策定に繋げていく。

③寄付金募集

恒常的な寄付金制度「教育振興寄付金」に加え、「120周年記念事業寄付金」としての募金活動を行う。

④学園資料の整理・保存

新規で収集した学園史資料の整理・保存を行う。新規に写真を収集し、図書館ソフトへの登録、アルバム作成（紙焼き写真）、デジタル化を行う。

⑤キャンパス整備計画

将来的な5・6・7・8号館の建替えを視野に入れ、複合体育館を建設する（令和3年度完成予定）。

(2)教育内容等の改善充実

①本学の今後のあり方を踏まえた教育の質保証

大学・短期大学の教育の質を高め、学生の有意義な生活を保障するため教育・研究に関わる様々な改革・改善に取り組む。

○学生意識調査の実施

入学理由・学生生活・課外活動・学修・キャリア支援・悩み・健康に関することについて「学生調査アンケート」を実施し、その結果を分析する。分析時には学生データと紐付け問題を抽出する。それらの分析結果を全学的に活かし、改善・充実を図る。

○IRの推進

I. 学生調査アンケートの集計結果を基に、教学部門と協力して本学の課題解決に向け改善策を探る。その際、企画調査室は改善策を導き出すための分析データの提供を主として行い、具体的な改善策は担当部署が主体となって考え、実行するものとする。また学内の集積データ等を活用し、学修成果の可視化を具現化させるための取り組みに努める。

II. 教務課、学生課をはじめとした教学部門が管理するデータや調査結果を集積・分析（経年比較含む）する。またそうした集積データを可視化した「数字でわかる東女体」のパンフレット作成を行い、図表から本学の特性を探り、結果を学内外に広く公表することを目指す。

②カリキュラムの検証と体系化の検討

大学体育学部と短期大学保健体育学科は平成27年度カリキュラム、短期大学児童教育学科は令和2年度改定カリキュラムにおいて、学生が計画的に履修できるようカリキュラムマップの検証を継続して行う。

令和2年度授業時間割は、教職課程及び保育士養成課程の変更に伴い改正した

平成 31 年度カリキュラムを円滑に運用する。

児童教育学科においては、特にカリキュラムの改定により廃止となった科目、新設された科目に留意し、学生にも十分配慮し編成する。

シラバスにおいて、ディプロマポリシーと科目との相関関係がわかるよう掲載を工夫し、多様な教育方法に取組み 100 分授業を展開し、教育の改善に繋げる。

③ F D 活動の充実

本学の教育・研究の改善・充実を図るため組織的な取り組みを行う。

F D 委員会を中心に F D 研修の実施、学生による授業評価の活用等により、教員の教育意識や指導技術を高め、授業内容の改善・充実に資する。また S D 委員会と連携し、学内教職員全体で職員力向上を図るべく、研修を計画・実行する。

(3) 研究活動の促進

① 女子体育研究所における研究の充実

研究機能の充実に努め、研究関連情報の収集・提供及び補助金申請支援等研究活動の充実を図る。

健康・体力に関する研究の一環としての体力テストを、学生主導での測定実習として行う。その結果を分析評価し、学年・学科・種目別平均値等の体力プロフィールを作成し、継続資料として蓄積する。

女子体育研究所運営委員会を中心に、共同研究の充実を図る。

② 研究活動の活性化

研究者情報(業績)の一元化及び教員の事務的業務の効率化に寄与する研究者情報管理システムを引き続き活用し、研究活動を実質的に支援する。

研究活動を広く発表する場として紀要を発行し、他大学等の図書館へ配布するほか、学術機関リポジトリに掲載して、さらに発表の場を広げる。なお、紀要には研究論文の他に、教員の当該年の研究活動報告を掲載する。

従来 of 個人研究に対する補助に加え、教員が研究内容の充実を図り、その研究成果を当大学や学会等の紀要や研究誌に発表することを奨励するため、「奨励個人研究費」を引き続き設ける。

③ 紀要(1-51 号)の電子的公開 <新規>

国立情報学研究所が運営していた CiNii のサービス終了に伴い、過去の紀要掲載論文がインターネット上で検索・閲覧できなくなったため、紀要のバックナンバーを東京女子体育大学学術機関リポジトリに登録し、電子的公開をする。大学が研究機関として学術情報(論文)をインターネットで公開することは重要な使命であり、特に戦後直後の短大創成期の論文は、日本の体育指導者教育の歴史として、他大学にない価値を有していると考えられる。

(4) 学生支援の改善充実

① 運動部活動の強化・充実

本学の専門性を支える運動部活動を強化し、学内の活性化及び社会的知名度を高めることに貢献するため、スポーツ系クラブから大学強化指定クラブを選抜し、計画的な強

化を図る。

強化指定クラブの選抜及び強化策については、大学強化指定クラブ委員会にスポーツに関する専門委員会としての機能を持たせるとともに、スポーツの専門的知見を必要とする事案の審議も依頼する。

②学生生活支援

入学直後のフレッシュウィーク及び後期オリエンテーションでの集中指導や学生相談箱の設置、クラス・ゼミ担任及びクラブ部長等の学生相談やオフィスアワー等を通じ、学生生活全般の支援を行う。

③奨学金の給付

○藤村学園育英奨学金

本学の建学の精神に基づき、学修・研究・諸活動に真摯に取り組み、優れた資質、素質を有し着実に実績を積んでいる将来有為な学生のうち、修学を継続するために経済的援助を必要とする者に対し学資を支援し、もって本学が期待する優れた人材の育成に資する。

○藤村トヨ奨励金

学業成績その他の活動を含め、建学の精神に則り模範となる学生を表彰し、学業を奨励・支援するために奨励金を授与する。学業を奨励・支援する。

○スポーツ奨学金

スポーツ特別奨学生以外で入学後、本学のクラブ活動でその専門技能を磨き、優秀な競技成績を収めたスポーツ系クラブ選手を表彰すると共に奨学金を授与し、競技活動を奨励・支援する。

○藤村学園スポーツ特別奨学金

本学の建学の精神及び教育理念に沿って、本学での活躍が期待される競技成績の優秀な入学生・在學生を支援することを目的とし、インターハイ・国民体育大会・国際大会等において、優秀な成績を収め、将来が期待できる選手を支援する。

○学校法人藤村学園スカラシップ制度（給付型奨学金入学制度）

建学の精神「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」のもと、優秀な指導者を育成するために、成績優秀者、将来有為な学生を入学させることを目的とする。

スカラシップ生として選抜された入学者には、学業、生活態度において他の学生の模範となること、卒業後のビジョンを明確に持ち勉学に励むことを期待する。

④教師力養成講座

○参観実習

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを主たる目的とし、いわゆる教員採用試験対策に終始せず、教員としての本質的な力量を高める基礎づくりに主眼を置いて事業を展開する。

⑤教員採用試験対策講座

○教採試験対策講座

教員採用試験合格者を増やすための対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2次試験対策としては論作文・面接指導・模擬授業対策の個別対応と集団面接・討論の対策など、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

○教養対策講座

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師として必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

(5) キャリア支援の充実

① キャリア形成支援

学生が生涯にわたって正しい職業観・勤労意欲を身に付け、自分に適した職業を見つける能力と勤労意欲を養い、自主的・積極的に就職活動を進められるように、入学時から体系的・計画的な支援、指導を行う。

必修科目「キャリアデザイン」は、学生のキャリア形成を自分自身で考え、明確にしていくための授業であり、これからのキャリア形成に必要な力をつけさせていく。

就職活動支援として、インターンシップ（就業体験）を行うことにより、学生の就職意識の啓発・深化を図り主体的な職業選択能力を養成するため、平成29年度から単位化したインターンシップを引き続き実施する。

② 就職活動支援

学生の意識と基礎的就職力を養成し、レベルアップを図るため、就職対策講座等を実施し、就職活動を支援する。就職活動に向けて基礎的な講座を行い、就職の理解を深め、継続して取り組み、直前講座に繋げる。対象は「大学3年短大1年生全員」とする。

学生の就職を実現するため、就職相談・職業紹介・各種資格取得等の支援を行う。

卒業学年の進路状況の把握、集計、記録、分析を行い、よりよい支援体制の検討や支援プログラムの展開を行う。

就職推進懇談会や企業への訪問を行い、学生の就職実現のための情報収集、意見交換及び幼稚園・体育施設・企業関係者への積極的な働きかけを行う。

③ 資格取得支援

○各種資格取得支援

資格取得の助言・指導を行い、学生のキャリアアップを図る。

健康運動指導士、健康運動実践指導者等資格取得のための対策講座を開講する。

秘書技能検定（学内で試験実施）

○社会体育施設実習

社会体育施設についての理解を深め、社会体育指導者としての資質を養い、社会体育施設への就職の機会を広める。

(6) 広報活動の充実

① 広報が担う大学存在価値の訴求

大学の「存在価値」を全国的に浸透させる活動は学生募集の基盤であり、その継続的な取り組みが「少子高齢化社会」における喫緊の課題である。

「本学の業績や本学関係者の活躍等を社会に知らせ、それを広めることで社会的な存在価値を高め、優秀な人材を入学させることができる。」というコンセプトのもと、さらなる確立を目指して、情報発信力を継続的に強化し、積極的な広報活動を行う。

心に訴える言葉として「一生ものの、姿勢をつくる。」をキャッチフレーズに、「建学の精神」に則った大学のイメージを活かした広報活動を行う。「TWCPE」と「東女体大」を大学のロゴとして効果的に活用する。

現在、大学ブランドを全国に訴求する手段として、広告ツールを充実し、活用できるあらゆるメディアの訴求力を最大限に利用しているが、令和2年度以降の中期的構想の目標達成には不可欠である。

本学のブランディング戦略及び独自の広報活動を立案実施し、大学ブランドを全国に訴求する。

② 戦略的學生募集広報

戦略的學生募集は、「本学へ関心を持つ学生を早い段階で増やすことにより、出願まで結びつける。」という基本コンセプトに則り広報活動を行っている。

その実現のために、本学の本質的な魅力を発掘し、情報誌、情報サイト、多様なメディアを利用して広く伝えるとともに大学案内やホームページのさらなる充実とオープンキャンパスの質的改善を行い、積極的な学生募集における広報活動を行っていく。

その一環としてスマートフォンを利用したLINE@で本学を友だち登録した高校生等に大学からのメッセージを配信する。

また、競技スポーツ系クラブの協力を得て、高校生との合同練習会でキャンパスグッズと一緒に大学案内等の資料を配布し、より身近な大学として認知してもらう。

また、全国の高等学校の卒業生教員との人的ネットワークの展開のために本学同窓会の協力のもと、大学と卒業生教員との繋がりを密にし、卒業生教員への情報提供を強化する。

③ 進路アドバイザーによる学生募集広報の発展

訪問実績を踏まえ、学生募集活動をさらに充実させて継続的に実施する。特に関東エリアでは、前年の訪問校を継続しつつ、新規校開拓の広報活動を展開する。

早い時期に多くの高校へ大学案内等を持参し説明する。

(7) 地域交流事業の充実

① 公開講座

本学の研究・教育の成果を地域に開放し、生涯学習の場を提供する公開講座を充実し、本学と地域社会との交流を図る。

対象を幼児から成人までの5区分で実施する。

幼児・小学生講座は、総合的な動きづくりとスポーツの楽しさに重点を置き、発育発達期に応じた講座の充実を図る。また、文化や科学のこころを育てる講座も開講する。

高校生講座は本学の教育の魅力をアピールする機会でもあるため引き続き実施する。

成人講座は、スポーツを医・科学や運動学、スポーツ栄養学から捉え、健康づくりや生涯スポーツを楽しむ講座の充実を図る。

共通講座は、中学生から成人までの年齢に関係なく一緒に楽しめる講座の充実を図る。

②定期レッスン

近隣の子ども達のスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、定期的に有料講座を開講する。

③ジュニア・ユースクラブ

近隣の子ども達のスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、会員制のジュニア・ユースクラブを実施する。

3種目(新体操、ヒップホップ、サッカー)すべてにおいて、さらに地域に根付いたクラブを目指し、地域イベントなどにも積極的に参加しながら、大学と地域の交流の場も広げ、会員数の安定と活動内容のさらなる充実を図る。各種目クラス編成については昨年度同様とする。

④ジュニア・ユースクラブ強化推進

東京2020オリンピックも近づきスポーツへの関心が高まる中で、スポーツを通して子供達の夢をかなえる大学独自の地域貢献事業の取り組みとして、より専門的に技術力を養い、競技としてのスポーツを親しむ場の提供を継続して行う。

外国人特別講師招聘では最先端の指導を受け、さらなる技術力向上を図る。国内競技会、強化合宿等にも積極的に参加し、競技力の強化を行う。

(8)教育環境の整備充実

教育環境の整備充実として、大学構内の施設・設備について次のような施策を実施し、安全・安心に係る事項の推進や快適空間の確保など教育環境の整備充実を図っていく。

① 校内蛍光灯照明設備 LED化改修工事

これまでの水銀灯照明設備のLED化に引き続き、校内蛍光灯照明設備のLED化改修工事を推進していく。照明力の一層の向上、省エネルギー対策、取替メンテナンスの省力化などコスト削減を図る。

② 各建物耐用年数向上化促進対策改修工事

1号館～12号館(2号館及び4号館を除く)の各建物の劣化度診断に基づき、緊急性を踏まえて、耐用年数の向上に必要な改修工事を実施する。

③ 校内電気設備更新修繕工事

受変電設備が一般的な耐用年数(約30年)を経過している。外観上の不備はないが、経年劣化による機能低下となる前に緊急性を踏まえて新規設備へと取替更新を実施していく。

④ 会議室冷暖房設備改修工事 <新規>

1号館3階会議室の冷暖房設備は、冷温水発生機のため適切な温度設定ができないこ

とから、個別稼働が可能な天井埋め込み型の冷暖房設備に改修し会議環境の改善を図る。

⑤ 屋内消火栓入替工事 <新規>

竣工当時の機器のため、経年劣化による起動不能となる前に新規設備へ取替更新を実施する。

⑥ 図書館情報機器の更新 <新規>

図書館に設置している学生が自由に利用できるパソコン 28 台の更新を行い、学内に設置している Windows10 に入れ替えたパソコンとの互換性を持たせる。

⑦ 図書館運営機器の更新 <新規>

図書館に既に設置している退館管理システムを更新し、最新のシステムにより、図書館運営の改善を図る。

2 所管別事業

○教育改革推進関係事業【総務課・企画調査室】

(1) 学生による授業評価の実施

教員の教育意識や指導技術を高め、学生の視点に立った授業内容の改善に資するため、大学（体育学部体育学科）、短期大学（保健体育学科、児童教育学科）において、全科目、全クラスを対象に学生へのアンケート調査を実施する。

実施時期 前期授業 6月下旬～7月 後期授業 11月下旬～2月中旬

学外・集中授業 8月～9月、12月～3月上旬

科目数 約 370 科目 授業数 約 690 クラス 履修者数 延べ 4 万 4 千人

自己点検評価の一環として実施しており、調査結果を各担当教員へ通知する。各教員が調査結果を分析し、改善策等についてコメントしたものを報告書としてまとめ、学生のみならず教職員の閲覧に供す。また、授業評価の分析を教員間で行い教育の質を向上させる。

(2) 自己点検評価報告

教育実践の一層の改善・充実を図るため、教育・研究活動の現状について自己点検評価を行う。令和 2 年度は、令和元年度の点検を行い、「令和元年度点検報告」としてまとめ、ホームページにて公開する。

(3) 学園研修の推進

教職員全員を対象として、管理運営や教育・研究支援等を含めた資質の向上を図るため組織的に取り組んで研修活動を推進する。

(4) F D 活動の推進

授業内容の改善・充実を図るための組織的な活動を推進する。F D 委員会を中心に F D 研修の実施、学生による授業評価の実施とその活用策等を検討する。

(5) ティーチングポートフォリオの作成

年度ごとのシラバス、授業評価結果等を教員ごとに管理・保管し、継続的な教育改善に資する。

○事務局関係事業【総務課・経理課・企画調査室・募金担当】

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック プロジェクト

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、2014(平成 26 年度)に立ち上げたプロジェクト本部及び専門委員会を中心に本学の資源を活かした方策を検討すると共に、パブリックビューイング等を開催する。学園としては、事前キャンプ等の受入体制を整え、在学生のボランティア活動をサポートする。

(2) 寄付金募集

教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生生活動への支援経費及び校舎その他付属設備の取得・改修費に係る恒常的な「教育振興寄付金」及び創立 120 周年記念事業の一環である体育館建設の「複合体育館寄付金」に係る資金調達のための募金活動を行う。

(3) 事務職員研修（S D 研修）

事務職員の能力向上のため、S D 委員会を中心に学内研修会の開催等、組織的に対応する。

(4)「学園報」の発行

学園の基本情報を学内・学外に広く提供・周知するため「学園報」を定期的に発行する。

(5)国際競技会等に対する報奨金

在学生が高次の国際競技会に日本代表として出場した時に、大会成績に応じて報奨金を授与する。

(6)本学の今後の在り方を踏まえた教育の質の保証（学修実態調査）

大学・短期大学の全在学生を対象に、入学理由・学生生活・学修などの質問項目から、本学における学修実態の把握を行う。アンケート実施後は、その結果を IR の取り組みとして定性的・定量的に分析し、教育の質の向上を目指す。

○教務関係事業【教務部 教務課】

(1)教育の質保証に関する充実

ア) 当該年度のすべての開講科目のシラバスを第三者シラバス部会による記載内容のチェックを実施し、カリキュラムレベル(D P との関連)、授業レベル(授業計画・手法、評価方法等)の改善を図る。

イ) GPA 制度の活用、学修成果の把握及び学習支援の充実

ウ) 履修系統図またはナンバリングの整備及びカリキュラムマップの充実

(2)履修指導の充実

学部、学科のカリキュラムを基に、学生一人ひとりの能力・適性・興味・関心に応えられる多様な教育メニューを整え、充実した学習ができるよう履修指導等を充実し、支援していく。また、履修登録、成績管理、卒業認定単位の確認、休講・補講・教室変更等の情報など、学生情報に関する新教学システム「UNIVERSAL PASSPORT」の充実・強化を図り、学生及び教職員に対して教学事務の利便性の向上を図っていく。

(3)学外実習・演習

夏季学外実習 6 科目 冬季学外実習 3 科目

(4)創作オペレッタ発表会

短期大学児童教育学科 2 年生の参加により、カリキュラム授業の中で創作劇の脚本、演出、音楽、出演など学生自身で行う創作オペレッタ発表会を開催する。

(5)導入教育の実施

ア) 「藤村トヨの教育」(講義・演習 1 単位) 「国語基礎講座」(講義 2 単位)

新入学生対象/大学・短期大学

イ) フレッシュマンセミナー

保健体育学科 1 年対象/水泳(含海浜実習)

児童教育学科 1 年対象/野外活動演習

(6)キャリア教育の実施

「キャリアデザイン」(講義・演習 1 単位) 新入学生対象/大学・短期大学

(7)履修形態の多様化

ア) 科目等履修生の受け入れ(大学・短期大学)

イ) 他学科履修制度(短期大学児童教育学科・10 単位以内)

ウ) コース制

短期大学児童教育学科

幼小コース(幼稚園教諭・小学校教諭)/幼保コース(幼稚園教諭・保育士)

- (8)授業運営の充実・効率化
 - ア) スチューデントアシスタントの活用
 - イ) 出席管理システムの活用
- (9)聴覚に障がいのある学生への情報保障支援
 - ア) ノートテーカーの配置
- (10)高大連携の実施

○教職関係事業【教職センター 教職課】

(1)教育実習の実施

大学体育学部体育学科 4年	317人	
短期大学保健体育学科 2年	10人	
短期大学児童教育学科 2年(小学校)	51人	(科目等履修生を含む)
短期大学児童教育学科 2年(幼稚園Ⅳ)	66人	(科目等履修生を含む)
短期大学児童教育学科 1年(幼稚園Ⅲ)	90人	

(2)介護等体験の実施

大学体育学部体育学科 2年・3年	322人
短期大学保健体育学科 1年	20人
短期大学児童教育学科 1年	25人

(3)保育実習の実施

短期大学児童教育学科 2年(保育実習Ⅱ・Ⅲ)	60人
短期大学児童教育学科 1年(保育実習Ⅰ)	70人

(4)教師力養成講座

【参観実習】

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを目標に、公立小学校等において参観実習を行い、教員としての力量を高める基礎づくりを行う。

【教養対策講座】

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師として必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

【教採試験対策講座】

教員採用試験合格者を増やす対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2次試験対策としては、論作文・面接指導・模擬授業対策の個別対応と集団面接・討論の対策など、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

○学生支援関係事業【学生部 学生課】

(1)フレッシュウィークの実施

新入生が大学での学習の魅力を肌で感じ、新鮮な印象と期待感を持って学園生活をスター

トできるよう期間を設け、授業ガイダンス、キャリア支援、クラブ活動、学友会活動など学園生活に必要な事項のオリエンテーションを年度当初に集中的に行う。

(2) クラブ活動の充実

ア) 国際試合等海外遠征支援(補助金の支給)

イ) クラブ活動支援

運営指導必要経費(学外指導者連絡費等補助金の支給) 対象クラブ: 38 クラブ

ウ) 特別学外指導者の配置 対象クラブ: 05 クラブ

エ) 学外指導者の配置 対象クラブ: 21 クラブ

オ) 大学強化指定クラブ 対象クラブ: 4 クラブ

(3) 藤園祭(学園祭)の実施

11月3日(文化の日)を中心とした2日間に、様々なイベントや模擬店等を学生からなる藤園祭実行委員会が企画・運営し、地域の人たちとのコミュニケーションを図る。

(4) 奨学金の給付

ア) 藤村学園育英奨学金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 1,100万円(本学独自の奨学金)

イ) スポーツ奨学金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 400万円(本学独自の奨学金)

ウ) 藤村トヨ奨励金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 90万円(本学独自の奨学金)

エ) 国際競技会等に対する激励金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 250万円(本学独自の奨学金)

オ) スポーツ特別奨学生の運営

Aランク 入学初年度費用相当額(入学金、授業料、施設設備費、実験実習費)及び次年度の授業料(前後期)相当額を免除する。なお、次年度の免除については別に定める基準により評価し決定する。在学生については、原則授業料を免除する。

Bランク 入学初年度費用相当額(入学金、施設設備費)を免除する。

Cランク 入学初年度費用相当額(入学金)を免除する。

カ) スカラシップ制度(新入生)の運営

建学の精神に基づき、本学の教育理念を理解し、一般選抜、共通テスト利用選抜において優秀な成績を修めた学生に対し、奨学金として入学初年度(授業料半額程度)を給付し、入学後の学修意欲を高めることを目的とする。

(5) 日本学生支援機構奨学金の貸与(令和元年10月1日現在の実績)

第一種奨学金(無利子) 315人

第二種奨学金(有利子) 563人 ※参考: うち99人が両方併用

(6) 学生相談

ア) 学生相談箱の設置

イ) 相談担当教員による相談、臨床心理士等によるカウンセリング

(7) オフィスアワーの実施

学生のより豊かな学習活動を支援するため、全教員が曜日と時間を設定し、学生の相談等に応じ、きめ細かい支援をする。

(8) 学生寮「ふじ寮」の運営

寮生数(想定) 新入生 141 人、残寮生 111 人 合計 252 人

○キャリア支援・就職対策関係事業【キャリア支援部 キャリア支援課】

(1) ガイダンス・講習等

ア) 就職オリエンテーション 〈全学生〉

フレッシュウィーク就職オリエンテーション前期 1 回 後期 1 回

キャリアガイダンス 年間 10 回

イ) 資格取得オリエンテーション 年間 12 回

(2) キャリア支援

ア) 印刷物の作成

就職ガイド『「なりたい！」の実現を目指して』 大学 3 年、短期大学 1 年

イ) キャリアカウンセリング 〈全学生〉

専門のキャリアコンサルタントを配置して、学生の進路相談に応じる。

応募書類の添削指導、学生の個人指導・アドバイスをを行う。

ウ) 卒業生も含め、個々の学生の就職相談に応じる。

エ) キャリア支援関係情報の収集・提供

※大学・短期大学(保健体育学科・児童教育学科)卒業後の進路先拡充を図るため、企業アンケート等を基に本学学生に対する企業ニーズを把握し進路指導に活かす。また、学生の進路希望調査を基に、学生の希望を把握した進路指導を実施する。(短期大学生は第 1 学年前期から進路希望調査を実施)

(3) 就職活動支援

ア) 就職対策講座

就職対策講座 I (基礎) 大学 3 年・短期大学 1 年生全学生対象

公務員コース(後期週 1 回 全 7 回) 50 人

一般企業・体育施設コース(後期週 1 回 全 6 回) 250 人

SPI 対策講座 大学 3 年・短期大学 1 年 70 人

就職対策講座 II (直前) 大学 3 年、短期大学 1 年 100 人

※大学・短期大学それぞれの特色に合った対策指導を実施する。

公務員採用試験等では合格者を増やすために、試験の特徴を考慮し一次試験対策(教養試験)、二次試験対策(論文試験、面接試験、適性試験等)と段階的な指導を実施する。

イ) インターンシップ(1 単位) 夏季休業中 大学 2・3 年、短期大学 1 年 150 人

(4) 各種資格取得支援

社会体育施設実習 大学 4 年 20 人 短期大学(保健体育学科) 2 年 10 人

健康運動指導士認定試験対策講座 大学 4 年 10 人

健康運動実践指導者認定試験対策講座

大学 3・4 年 40 人 短期大学(保健体育学科) 2 年 10 人

共通科目 I 集中講座 短期大学(児童教育学科) 1・2 年 30 人

日本赤十字社救急法講習会 全学年 50 人

日本赤十字社水上安全法講習会 全学年 20 人

秘書検定講座 「秘書検定 2 級」 10 月講座開講

(5) 対外活動

対外的な活動によって情報を収集し、新たな就職先を開拓する。また、後援会支部会等
に出席し、就職に関する情報を提供するとともに、保護者の理解と協力を得る。

- ア) 就職推進懇談会等
幼稚園長懇談会
体育施設関係、一般企業関係懇談会
- イ) 訪問活動
体育施設、一般企業等
後援会支部懇談会

○学生募集・入学試験関係事業【入試課・広報課】

(1) 入学試験の実施

- ア) 総合型選抜（3期）
 - イ) 学校推薦型選抜（公募、指定校、スポーツ）
 - ウ) 一般選抜
 - エ) 共通テスト利用選抜
 - オ) 大学3年次編入学選抜（Ⅰ期、Ⅱ期）

(2) 学生募集活動

- ア) オープンキャンパス（6回）の実施
 - イ) 高校訪問
 - ウ) 進学説明会への参加（延べ80回）
 - エ) スポーツ推薦の学生募集
 - オ) 出前授業
 - カ) 高大合同練習会への協賛

(3) 広報活動

- ア) 高校生・他大学等対象「大学要覧」の発行（A4版92ページ 18,000部）
- イ) 広報誌の発行

「ヘッドライン」	年1回 3,500部（保護者・在学生・高校向け）
「ラブスポ」	年1回 15,000部（学外・保護者・ 在学生・高校生向け）
「短大パンフレット」	年1回 8,000部（高校生・高校向け）

- ウ) ホームページによる広報
大学案内、入試案内、オープンキャンパス開催案内、資料請求等
- エ) インターネット（パソコン・スマートフォン）を利用した広報
- オ) 受験雑誌、新聞、フリーペーパー、競技大会等プログラムなどへの広告による広報
- カ) 指定校ポスターの制作・掲示配付
- キ) 交通広告による広報

○学生・教職員の健康管理関係事業【健康管理センター】

医療法に基づく認可を受けた「診療所」として、治療処置の初期対応や迅速な措置を行うこと

により学生・教職員の健康管理の充実を図る。

学生の健康診断に基づき学生一人ひとりの健康を医師が専門的に管理し、健康の保持増進に努める。

また、インフルエンザ等感染症は、学生をはじめ学園に関わる全ての者に注意喚起をするとともに、予防対策と発症時の対応を適宜・適切に行う。

- (1) 定期健康診断と事後措置（学生）
- (2) 定期健康診断と事後措置（教職員）
- (3) 医事相談（外科、内科、整形外科、心療内科 他全般）
- (4) リハビリ相談（理学療法士による相談、指導）
- (5) 精神衛生相談（臨床心理士による心理相談）
- (6) 応急手当・保健指導
- (7) 体組成測定

○教育・研究支援関係事業【女子体育研究所】

女子の体育・スポーツ・レジャー・ニュースポーツ等とこれに関連する研究調査を行い、その向上、発展に資することを目的とし、その成果を教職員・学生のみならず広く社会へ公開し、社会の発展に寄与する。

- (1) 教員の個人研究・共同研究に対する補助

個人研究（本学教員） 共同研究（新規2件予定）

- (2) 研究フォーラムの開催

研究フォーラムを開催し、女子体育研究所共同研究、教員の個人研究及び共同研究の成果を本学教員と学生に発表する。

- (3) 「紀要」、「所報」の発行

「紀要」は教員の研究成果を論文として発表する機会を設けるため毎年発行し、全国の大学や国立国会図書館・関係出版社等にも配布するとともに東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学術機関リポジトリで発表する（第56号）。

「所報」は研究所の研究事業及び共同研究を研究報告として発表する場として毎年発行し、全国の大学等に配布すると同時に東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学術機関リポジトリで発表する（第15号）。

- (4) 研究者情報の開示（教員の研究業績の開示）

- ① 本学の研究資源として、教員の持っている知的資源、資質・能力及び本学独自の研究指導成果を広く公表する機会とする。
- ② 教員の研究領域や分野を相互に理解し、研究活動を充実させ、研究集団としての価値を高める機会とする。
- ③ ホームページ（教員情報）、researchmap(教員名又は大学名で検索)および J-GLOBAL (researchmap の教員から検索) において、本学教員の研究業績の開示を行っている。

- (5) 学生に対する体力テストの実施と測定結果の活用

（被検者は大学・短期大学各1・2年生および競技系クラブ所属3・4年生、検者は大学3・4年生）

文部科学省及び全国大学体育連合へデータ提供する。

○地域との交流関係事業【地域交流センター】

地域社会からの要請に応じて大学の教員や学生を派遣し、地域の教育、文化、スポーツ等の活動を支援するとともに、大学主催事業である公開講座、定期レッスン、ジュニア・ユースクラブの運営・実施により、地域の発展に寄与する。

(1) 公開講座の開催

公開講座（23 講座）は、地域の方が自由に参加することのできる講座を無料と有料（実費徴収）で提供する。

幼児講座	4 回開講	各 20～30 人
小学生講座	6 回開講	各 20～50 人
中学・高校生講座	6 回開講	各 30～50 人
成人講座	4 回開催	各 30～50 人
共通講座	3 回開講	各 20～40 人

(2) 定期レッスン

定期レッスンは、専門的内容の定期講座を有料で提供する。

新体操 7 回開講 各 50 人（小学生～高校生対象）

(3) ジュニア・ユースクラブの開催

ジュニア・ユースクラブは、会員制、通年で継続的に事業運営する。

① 新体操クラブ

一般コース	キッズ	3 クラス	毎週 1 回	各 15 人
	ジュニア	7 クラス	毎週 1 回	各 20 人
	ユース	1 クラス	毎週 1 回	15 人
育成コース		4 クラス	毎週 1 回	各 8～15 人
選手コース		2 クラス	毎週 4～5 回	各 8～15 人

② ヒップホップクラブ

ヒップホップ	1 クラス	毎週 1 回	15 人
--------	-------	--------	------

③ サッカークラブ

サッカー	2 クラス	毎週 1 回	20 人
------	-------	--------	------

(4) ジュニア・ユースクラブの強化推進事業（新体操クラブ）

会員の競技力強化・育成を図るため、外国人特別講師の招聘を行い、国内競技会および強化合宿東京都新体操ジュニアの育成・強化練習会にも積極的に参加する。

(5) ボランティア講座の開催（学生対象／5 講座／講義・演習）

学生にボランティアの意義、理論を学ばせ、演習を通してボランティア実践の方法を学ばせる。

(6) ボランティア活動

教育、文化、スポーツ等に関する地域社会からの要請に基づき、教員、学生を派遣し、社会貢献の一環とする。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ボランティアへ参加する学生の支援をする。

○図書館の運営関係事業【図書館】

附属図書館は大学における教育・研究活動を支える重要な基盤機関であり、また総合的な教養の場でもある。この目的を達成するために学生の教育・学修、教員の研究活動を支援し、図書をはじめとする雑誌、新聞、映像、電子資料、学園史資料の収集・提供・保存を行う。

(1) 図書等資料の収集・整理・保存（蔵書冊数予定 175,000 冊）

図書受入予定	約 4,000 冊
雑誌所蔵予定	約 800 種
新聞所蔵予定	約 14 種
映像資料所蔵予定	約 100 タイトル
データベース予定	約 7 種

(2) 図書貸出予定冊数 年間 約 4,000 冊

(3) レファレンス・サービス

(4) 学外機関との相互協力

図書館間の資料の相互補完

国立情報学研究所の目録所在サービスへの図書・雑誌所蔵登録

(5) 開館時間の延長

学生の学修時間の確保をめざす為、閉館を平日の通常 17 時を 19 時まで、土曜日の通常 13 時を 14 時まで遅らせ、開館時間を延長し授業終了後にも図書館を利用できるようにする。試験期間、卒業研究提出期間には平日は 20 時、土曜日は 17 時まで開館時間を延長する。

(6) 広報活動

図書館広報誌 「リーヴル」 年 2 回発行

ホームページ（図書館ページ）の更新

(7) 令和 2 年度図書館行事予定

ライブラリー・ツアー	調査・研究に役立てるために、図書館の資料の場所を知り、検索方法や利用法を身に付けさせる。	延べ 12 回 予定
読み聞かせの会 「絵本から広がる子育て」 *地域交流センター共催	絵本を入口に子どもと一緒に楽しむ。	年 1 回
図書館は楽しい ー子どもと一緒にー 絵本の読み聞かせ 紙芝居・クラフトワーク他	学園祭にあわせ図書館を地域に開放して、児童教育学科の学生と子ども達との交流を図り、地域社会への貢献を行うことにより、図書館の有効な利用法の一つとする。	11 月 藤園祭期間 年間 1 回
卒業研究発表会 写真展示会	卒業研究発表会で発表している学生達の様子を写真展示し、学生に修学意欲を起こさせる。	1 月中旬

(8) 地下書庫の図書整理

25,000 冊余りの図書から、資料的に貴重な明治・大正・昭和初期の専門学校時代からの図書が数多く含まれる 10,000 冊余りの図書を選別、登録、棚卸可能な状態にして確保するとともに、それ以外の図書については順次廃棄をし、地下書庫を有効利用できるようにする。

○施設の整備【管財課】

(1) 10 号館蛍光灯照明設備 LED 化改修工事

これまでの水銀灯照明設備の LED 化に続き、校内蛍光灯照明設備の LED 化改修工事を推進し、照明力の一層の向上、省エネルギー対策、取替メンテナンスの省力化などコスト削減を図る。

令和元年度に、1 号館蛍光灯照明設備 LED 化改修工事を行い、今年度は 10 号館蛍光灯照明設備 LED 化改修工事を実施する。

(2) 各建物耐用年数向上化促進改修工事

1 号館から 12 号館（2 号館及び 4 号館を除く）の各建物の劣化度診断に基づき、建築及び設備関係の不具合箇所の緊急性を踏まえて耐用年数の向上に必要な改修工事を実施する。

(3) 1 号館電気設備更新修繕工事

受変電設備が一般的な耐用年数（約 30 年）を経過しており、外観上の不備はないが経年劣化による機能低下となる前に、緊急性を踏まえて新規設備へ取替更新を実施していく。

今年度も前年度に引き続き、1 号館の電気設備更新修繕工事を実施する。

(4) 6 号館屋内消火栓入替工事

令和元年度に実施した 1 号館屋内消火栓ポンプ更新工事に続き、6 号館 1 階の屋内消火栓消火ポンプユニットも竣工当時の機器のため、経年劣化による起動不能となる前に新規設備へ取替更新を実施する。

○キャンパス整備計画【管財課】

(1) 複合体育館建設

将来的な 5・6・7・8 号館の建替えを視野に入れ、第 7 体育館北側用地に移設したテニスコート跡地に複合体育館を建設する。

複合体育館は、新体操競技が主用途の体育館、バレーボールやバスケットボールが主用途の体育館、クラブ活動と各クラブの基礎練習として使用できる多目的ルーム及びトレーニングルームを設置する。

現在、令和 3 年 8 月末の完成予定で建設している。

IV 予算概要

1 令和2年度予算編成の概要

令和2年度予算は、予算編成方針に基づき部署別の事業計画及び予算に係るヒアリングを実施し、理事査定、予算委員会を経て編成しました。令和2年2月19日(水)の理事会において事前審議の後、2月26日(水)の評議員会へ諮問し、3月11日(水)の理事会で承認されました。

大学を取り巻く環境は、18歳人口の減少や大学定員管理の厳格化等により、一層厳しさを増しております。また、スポーツ及び健康に関する学部・学科の相次ぐ開設により体育系大学の入学者獲得競争が激化してきたこと並びに女性の高学歴化に伴う4年制大学への志向が強まってきたこととの関係で、短期大学の入学志願者の減少など、財務基盤の安定を確保するには厳しい状況です。こうした状況の中で本学園は、諸施策を確実に実行して教育・研究水準を維持向上させていかなければなりません。

本学園としては、中期財務計画に基づく学費改定に加え、保育士養成課程の設置や学生募集に努め、収入の安定化に向けて取り組んでいるところです。しかしながら、令和2年度入学者数(大学・短期大学)は、前年度に比べて34名程度の減少が予想されるため、厳しい予算編成となっています。

教育研究経費及び管理経費については、既存事業の見直しにより、新規事業が展開できるよう配分しました。令和2年度はオリンピック・パラリンピックの開催年度であるため、オリパラ講座等の事業や、選手の激励等に予算をつけています。また、学生支援体制の一環として、引き続き経済支援、学業やスポーツ優秀者の支援、スカラシップ制度及び国際大会参加者の激励や報奨等、多彩な奨学制度に予算配分しています。そして、学生相談体制充実のため、24時間電話相談サービス導入の予算を計上しました。

加えて、令和2年度は短期大学の認証評価受審年度であるため、関係経費を予算措置しています。

施設設備関係については、キャンパス計画に基づく複合体育館建設費の中間払い金を予算に計上しました。また、既設の施設設備については、施設設備改修計画に基づく電気設備入替を予算措置するほか、緊急性を要するものから随時執行できるよう配分し、教育環境の改善・充実に配慮しています。

2 学生数

- 入学者数は編入を含め453名と推計し、前年度比で34名の減少を見込みます。
- 5月1日の在籍者数は1,681名と推計し、前年度比で41名の減少を見込みます。

(1) 入学者数(令和2年度入学者数は、Ⅱ期AO型入試までの実績を基に算出した推計値) (単位:人)

区分	入学定員	令和2年度見込	令和元年度(5/1)	増△減	備考(2年度充足率)
大学 体育学部	340	345	346	△1	101%
大学 3年編入	40	17	25	△8	42%
短大 保健体育学科	50	26	39	△13	52%
短大 児童教育学科	110	65	77	△12	59%
計	540	453	487	△34	83%

(2) 在籍者数(退学・除籍・9月卒業 48人、留年者21人) (単位:人)

区分	収容定員	令和2年度見込	令和元年度(5/1)	増△減	備考(2年度充足率)
大学 体育学部	1,440	1,469	1,495	△26	102%
短大 保健体育学科	100	67	77	△10	67%
短大 児童教育学科	220	145	150	△5	65%
計	1,760	1,681	1,722	△41	95%

資金収支予算書

令和 2年 4月 1日 から
令和 3年 3月31日 まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減
学生生徒等納付金収入	1,885,197	1,889,394	△ 4,197
手数料収入	24,000	24,940	△ 940
寄付金収入	10,000	8,500	1,500
補助金収入	130,000	110,150	19,850
国庫補助金収入	(129,850)	(110,000)	(19,850)
地方公共団体補助金収入	(150)	(150)	(0)
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	153,000	164,650	△ 11,650
受取利息・配当金収入	118,542	126,000	△ 7,458
雑収入	83,571	162,482	△ 78,911
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	501,275	547,250	△ 45,975
その他の収入	2,776,582	3,014,096	△ 237,514
資金収入調整勘定	△ 618,471	△ 672,462	53,991
期末未収入金	(△ 71,221)	(△ 157,932)	(86,711)
前期末前受金	(△ 547,250)	(△ 514,530)	(△ 32,720)
前年度繰越支払資金	2,343,023	1,872,984	470,039
収入の部合計	7,406,719	7,247,984	158,735

(単位：千円)

支出の部			
科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減
人件費支出	1,225,254	1,302,316	△ 77,062
教育研究経費支出	511,887	508,157	3,730
管理経費支出	193,484	191,392	2,092
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	2,286,350	1,223,136	1,063,214
設備関係支出	26,915	66,335	△ 39,420
資産運用支出	1,691,358	1,601,546	89,812
その他の支出	35,325	36,527	△ 1,202
〔予備費〕	〔 10,000 〕	〔 10,000 〕	〔 0 〕
資金支出調整勘定	△ 35,206	△ 34,448	△ 758
期末未払金	(△ 26,000)	(△ 26,000)	(0)
前期末前払金	(△ 9,206)	(△ 8,448)	(△ 758)
翌年度繰越支払資金	1,461,352	2,343,023	△ 881,671
支出の部合計	7,406,719	7,247,984	158,735

事業活動収支予算書

令和 2年 4月 1日 から
令和 3年 3月31日 まで

(単位：千円)

教育活動収入	事業活動収入の部	科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
		学生生徒等納付金	1,885,197	1,889,394	△
手数料	24,000	24,940	△	940	
寄付金	5,000	5,500	△	500	
経常費等補助金	130,000	110,150		19,850	
国庫補助金	(129,850)	(110,000)	(19,850)	
地方公共団体補助金	(150)	(150)	(0)	
付随事業収入	150,000	161,650	△	11,650	
雑収入	83,571	162,482	△	78,911	
教育活動収入 計	2,277,768	2,354,116	△	76,348	
教育活動支出	事業活動支出の部	科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
		人件費	1,228,193	1,303,455	△
教育研究経費	833,061	831,554		1,507	
(減価償却額)	(321,174)	(323,397)	(△	2,223)	
管理経費	285,018	283,511		1,507	
(減価償却額)	(91,534)	(92,119)	(△	585)	
徴収不能額等	3,000	3,000		0	
教育活動支出 計	2,349,272	2,421,520	△	72,248	
教育活動収支差額		△	71,504	△	67,404

(単位：千円)

教育活動外収入	収事業の活動の部	科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
		受取利息・配当金	118,542	126,000	△
その他の教育活動外収入	3,000	3,000		0	
教育活動外収入 計	121,542	129,000	△	7,458	
教育活動外支出	支事業の活動の部	科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
		借入金等利息	0	0	
その他の教育活動外支出	0	0		0	
教育活動外支出 計	0	0		0	
教育活動外収支差額		121,542	129,000	△	7,458
経常収支差額		50,038	61,596	△	11,558

(単位：千円)

特別収支	収事業の活動の部	科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
		資産売却差額	0	73,000	△
その他の特別収入	5,100	27,100	△	22,000	
特別収入 計	5,100	100,100	△	95,000	
特別支出	支事業の活動の部	科 目	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
		資産処分差額	4,000	24,000	△
その他の特別支出	0	0		0	
特別支出 計	4,000	24,000	△	20,000	
特別収支差額		1,100	76,100	△	75,000
〔予備費〕		〔 10,000 〕	〔 10,000 〕	〔	0 〕
基本金組入前当年度収支差額		41,138	127,696	△	86,558
基本金組入額合計		△	2,303,216	△	289,125
当年度収支差額		△	2,262,078	△	161,429
前年度繰越収支差額		834,336	995,765	△	161,429
翌年度繰越収支差額		△	1,427,742	△	834,336

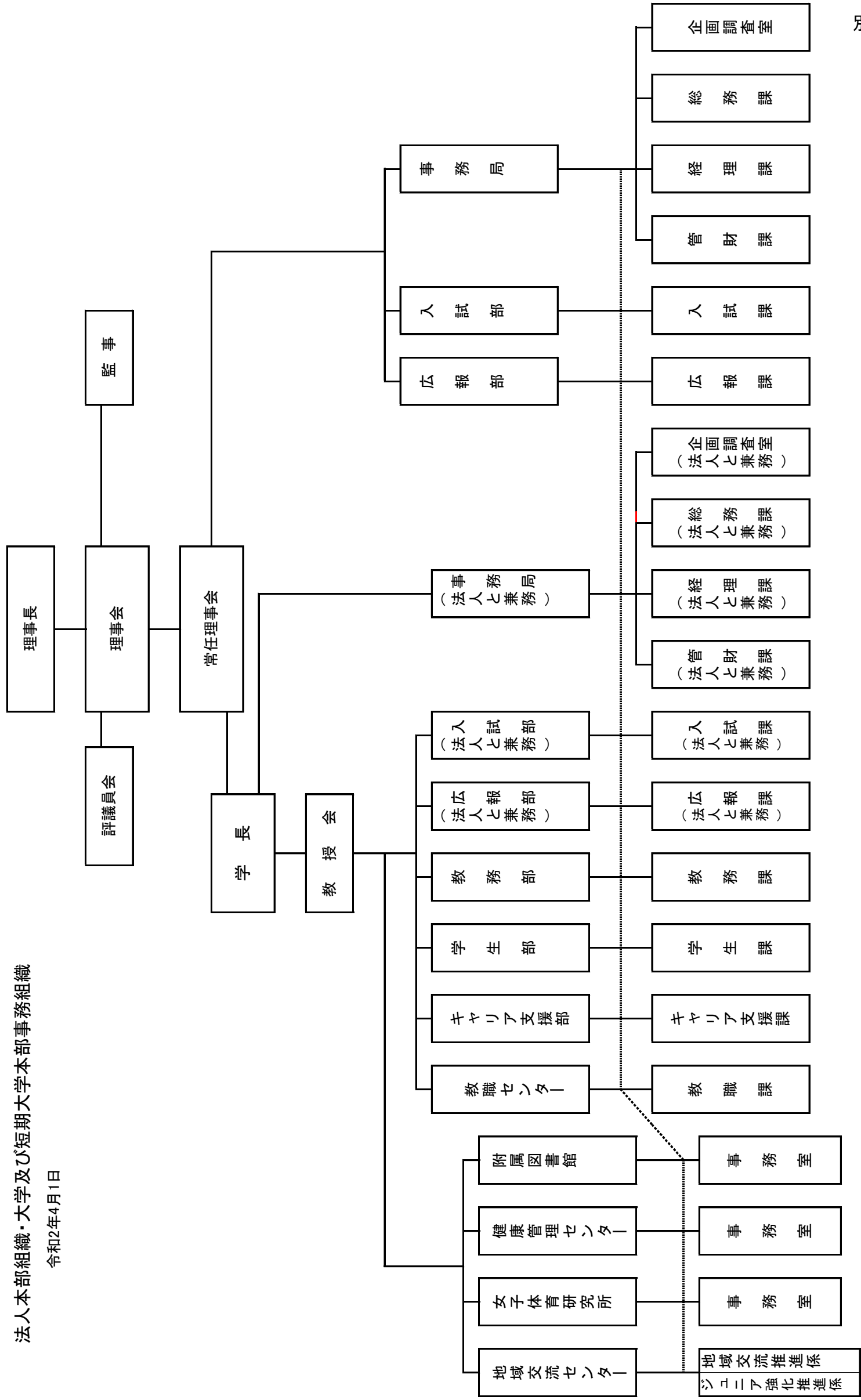
(参考)

(単位：千円)

事業活動収入 計	2,404,410	2,583,216	△	178,806
事業活動支出 計	2,363,272	2,455,520	△	92,248

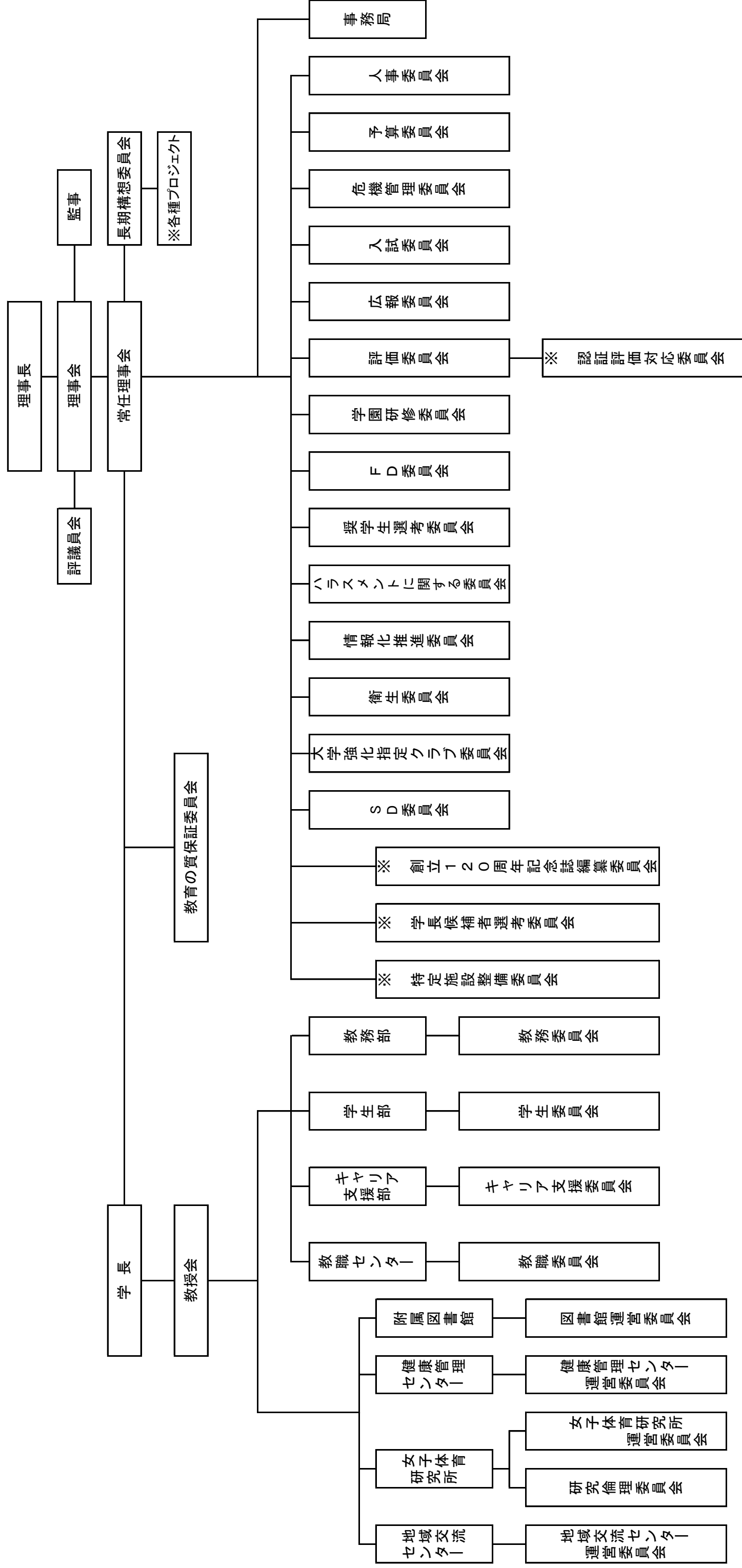
法人本部組織・大学及び短期大学本部事務組織

令和2年4月1日



法人委員会及び教学委員会組織連関図

令和2年4月1日



※必要に応じて設置する委員会・プロジェクト

令和2年度 行事予定表

4						5						6								
日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大		
				保体	児教						保体	児教						保体	児教	
					幼小コース 1・2年	幼保コース 1年生 2年生						幼小コース 1・2年	幼保コース 1年生 2年生						幼小コース 1・2年	幼保コース 1年生 2年生
1	水	定例教授会				1	金					1	月			教育実習 (高・中学校)		教育実習 (小学校) 2年		教育実習IV (通常授業 なし)
2	木		春季休業終了			2	土					2	火							
3	金	入学式 入寮式				3	日	憲法記念日				3	水	定例教授会						
4	土	フレッシュウィーク				4	月	みどりの日				4	木							
5	日					5	火	こどもの日				5	金							
6	月	学生健				6	水	振替休日(5/3)				6	土							
7	火					7	木					7	日							
8	水	資格取得ガイダンス (大1.短1)	授業ガイダンス 履修登録期間			8	金					8	月							
9	木					9	土					9	火							
10	金					10	日	創立記念日				10	水							
11	土					11	月					11	木							
12	日					12	火					12	金							
13	月	履修登録締切				13	水	定例教授会				13	土							
14	火					14	木					14	日							
15	水	教員採用試験 前期対策講座開始	介護等体験学外講師講話			15	金					15	月	教員採用試験 直前対策講座						
16	木					16	土					16	火							
17	金					17	日					17	水							
18	土					18	月					18	木							
19	日					19	火					19	金							
20	月		履修確認・修正期間			20	水	履修取消期間				20	土							
21	火					21	木					21	日	オープンキャンパス						
22	水	体力テスト (授業なし) 教職員健診				22	金					22	月							
23	木					23	土					23	火							
24	金					24	日					24	水							
25	土					25	月					25	木							
26	日					26	火					26	金							
27	月					27	水					27	土							
28	火					28	木					28	日							
29	水	昭和の日 (授業あり)	就職ガイダンス(大4・短2)4校時 教育実習学外講師講話(大4・短2) 5校時			29	金					29	月							
30	木		履修取消期間			30	土					30	火							
31						31	日	オープンキャンパス				31								

令和2年度 行事予定表

日	7						8						9					
	曜日	大短共通	大学	短大			曜日	大短共通	大学	短大			曜日	大短共通	大学	短大		
				保体	児教					保体	児教					保体	児教	
			幼小コース 1・2年	1年生	2年生				幼小コース 1・2年	1年生	2年生				幼小コース 1・2年	1年生	2年生	
1	水	定例教授会				1	土					1	火					野外活動演習(児1)
2	木					2	日					2	水	教師力養成講座 (観察実習)				
3	金					3	月					3	木					
4	土					4	火					4	金					
5	日					5	水					5	土					
6	月					6	木					6	日		夏季休業終了			
7	火					7	金					7	月		補講・補習日	補講・補習日	補講	講間
8	水	教員免許状一括申請 希望者ガイダンス (大4)				8	土					8	火					
9	木					9	日					9	水	定例教授会				前期 授業 終了
10	金	教員免許状一括申請 希望者ガイダンス (保2,児2)				10	月	山の日				10	木		前期試験	前期試験		
11	土					11	火					11	金					
12	日		海浜実習(大3・4) 水泳(含海浜実習) (保1)			12	水					12	土					
13	月					13	木					13	日	オープンキャンパス				
14	火					14	金					14	月		前期試験	教育実習 III(1年)	教育実習 III	保育実習 II・III
15	水	就職準備講座① (大3 短1) 介護等体験ガイダンス (大1)				15	土					15	火					
16	木					16	日					16	水					
17	金					17	月		キャンプ実習			17	木		学力保障			
18	土					18	火					18	金		学力保障			
19	日	オープンキャンパス				19	水					19	土					
20	月	教員採用試験 2次対策講座開始				20	木					20	日					
21	火					21	金					21	月	敬老の日				
22	水	教員採用試験 前期対策講座終了 就職準備講座② (大3 短1)				22	土					22	火	秋分の日	追再試験			
23	木	海の日	夏季休業開始			23	日					23	水					
24	金	スポーツの日				24	月					24	木					
25	土					25	火					25	金					
26	日					26	水					26	土	総合型選抜(I期) (A日程)				
27	月					27	木					27	日					
28	火					28	金					28	月					追再試験
29	水					29	土					29	火					
30	木					30	日					30	水		各課オリエンテーション			
31	金					31	月					31	月					野外活動演習(児1) 前期授業再開

令和2年度 行事予定表

10						11						12								
日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大		
				保体	児教						保体	児教						保体	児教	
					幼小コース 1・2年	1年生						2年生	幼小コース 1・2年						1年生	2年生
1	木		各課オリエンテーション				1	日	藤園祭					1	火	公務員試験対策講座④(大3,短1)				
2	金	教員採用試験後期対策講座開始	授業ガイダンス				2	月						2	水	定例教授会 SPI対策講座③(大3,短1)				
3	土						3	火	文化の日					3	木					
4	日						4	水	定例教授会	ゼミ・専攻コース オリエンテーション (大2・編入希望者)				4	金					
5	月		履修登録修正期間				5	木	就職対策講座⑤(大3,短1)					5	土					
6	火						6	金						6	日					
7	水	定例教授会 就職対策講座①(大3,短1)					7	土						7	月					
8	木						8	日	オープンキャンパス					8	火	公務員試験対策講座⑤(大3,短1)				
9	金						9	月						9	水	卒業研究発表会 (午後授業なし)				
10	土						10	火	公務員試験対策講座①(大3,短1)					10	木					
11	日						11	水	就職対策講座⑥(大3,短1)					11	金					
12	月						12	木						12	土					
13	火						13	金						13	日	総合型選抜(Ⅱ期)				
14	水	編入学試験(Ⅰ期) 就職対策講座②(大3,短1)	履修確認期間				14	土						14	月					
15	木						15	日						15	火	公務員試験対策講座⑥(大3,短1)				
16	金						16	月						16	水	臨時教授会 SPI対策講座④(大3,短1)				
17	土	総合型選抜(Ⅰ期) (B日程)					17	火	公務員試験対策講座②(大3,短1)					17	木					
18	日						18	水	SPI対策講座①(大3,短1)					18	金	就職学生報告会 (大3,短1)				
19	月						19	木						19	土					
20	火						20	金	学校推薦型選抜 (授業なし)					20	日					
21	水	臨時教授会 就職対策講座③(大3,短1)					21	土						21	月					
22	木		履修取消期間				22	日						22	火					
23	金						23	月	勤労感謝の日 (授業あり)					23	水					
24	土						24	火	公務員試験対策講座③(大3,短1)					24	木	冬季休業開始				
25	日						25	水	臨時教授会 SPI対策講座②(大3,短1)					25	金					
26	月						26	木						26	土					
27	火						27	金						27	日					
28	水	就職対策講座④(大3,短1)					28	土						28	月					
29	木						29	日						29	火					
30	金	藤園祭準備 (午後授業なし)					30	月						30	水					
31	土	藤園祭					31							31	木					

令和2年度 行事予定表

1							2							3						
日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大		
				保体	児教						保体	児教						保体	児教	
					幼小コース 1・2年	1年生 2年生						幼小コース 1・2年	1年生 2年生						幼小コース 1・2年	1年生 2年生
1	金	元 日					1	月	一般選抜(I期) 編入学試験(II期) (授業なし)					1	月	卒業認定会議(臨時教授会) 教員免許一括申請者決定 教師力養成講座(観察実習)			保育実習 I (施設)	
2	土						2	火	後期試験					2	火					
3	日						3	水	定例教授会					3	水	定例教授会				
4	月						4	木						4	木					
5	火						5	金						5	金					
6	水						6	土						6	土					
7	木	11/23振替休日 (全学停電)	冬季休業終了				7	日						7	日					
8	金						8	月						8	月	総合型選抜(III期) 共通テスト利用選抜 (II期)				
9	土						9	火	共通テスト利用選抜 (I期) 学力保障			創作オペレッタ		9	火					
10	日						10	水	学力保障			保育実習 I (保育所)		10	水	臨時教授会				
11	月	成人の日					11	木	建国記念日 追再試験					11	木		春季休業開始			
12	火						12	金	臨時教授会					12	金					
13	水	定例教授会					13	土						13	土					
14	木						14	日		スノーボード実習				14	日	オープンキャンパス				
15	金						15	月	教員採用試験対策 春季集中講座 就職対策講座II 直前①					15	月					
16	土	共通テスト (授業あり)					16	火	就職対策講座II 直前②					16	火					
17	日	共通テスト					17	水	就職対策講座II 直前③					17	水					
18	月						18	木	就職対策講座II 直前③					18	木					
19	火						19	金		スキー実習				19	金	卒業生ガイダンス				
20	水						20	土						20	土	春分の日 卒業式				
21	木						21	日						21	日					
22	金						22	月						22	月					
23	土	教員採用試験後期 対策講座開始					23	火	天皇誕生日					23	火					
24	日						24	水						24	水					
25	月	補講期間 (5校時)					25	木						25	木					
26	火						26	金						26	金					
27	水	補講日	12/9授業(3・4校時)				27	土						27	土					
28	木						28	日						28	日					
29	金	補講日	10/30授業(3・4校時)				29	月						29	月					
30	土						30	火						30	火					
31	日						31	水						31	水					